



令和8年度
財務省財務局総合職
内定者パンフレット

目次

01

はじめに	2
------	---

02

内定者データ	3
--------	---

03

内定者プロフィール	5
-----------	---

04

試験対策

時間管理	15
基礎能力試験	16
専門試験(法律/経済/院卒)	17
論文試験	22
企画提案試験	23
政策課題討議試験	24
人事院面接	25
情報収集	27
試験対策まとめ	28

05

官庁訪問

訪問日程のスケジュール例	31
官庁訪問1日のスケジュール例	32
面接構成と時間の目安	33
控室での過ごし方	34
想定質問リスト	35
他省庁との比較	36
持ち物リスト/休日の過ごし方	37
地方の学生向け情報	38
振り返り	39
財務局にした決め手	40

06

おわりに	41
------	----

コラム

公務員を目指した時期はいつ？	16
勉強はしてた？	20
試験勉強中のリフレッシュ法	26
併願の状況を教えて！	39
出口評価ってどんなことを言われるの？	39



01

はじめに

この度は、財務省財務局総合職「内定者パンフレット」を手にとってくださり、ありがとうございます！

本冊子は、国家公務員や財務局の仕事に関心を持つ皆さんに向けて、令和8年度内定者が、就職活動や官庁訪問の経験をもとに作成したものです。

就職活動では、将来の選択に不安や迷いが生まれることも少なくありません。私たちも同じ悩みを抱えながら、自分は何に関心があるのか、なぜ財務局で働きたいのかを模索してきました。

私たちがどのように考え、どのようなプロセスを経て財務局の内定に至ったのか。この冊子が、皆さんの進路選択や官庁訪問の一助となれば幸いです。

令和8年度 財務省財務局総合職内定者一同

※本冊子は内定者が作成したものです。内容はすべて内定者個人の見解に基づくものであり、財務省としての公式見解ではありません。
また、個人を特定し得る情報が含まれておりますので、取り扱いには十分ご注意ください。無断での複写・複製・転載はご遠慮ください。

内定者全員で
静岡県へ旅行した時の
写真です！



↑ さわやかなげんこつハンバーグを食べました！



↑ 富士サファリパークにてレンタカーの窓越しに沢山の動物を見ました！

他のページにも写真を載せているので、最後までご覧ください！

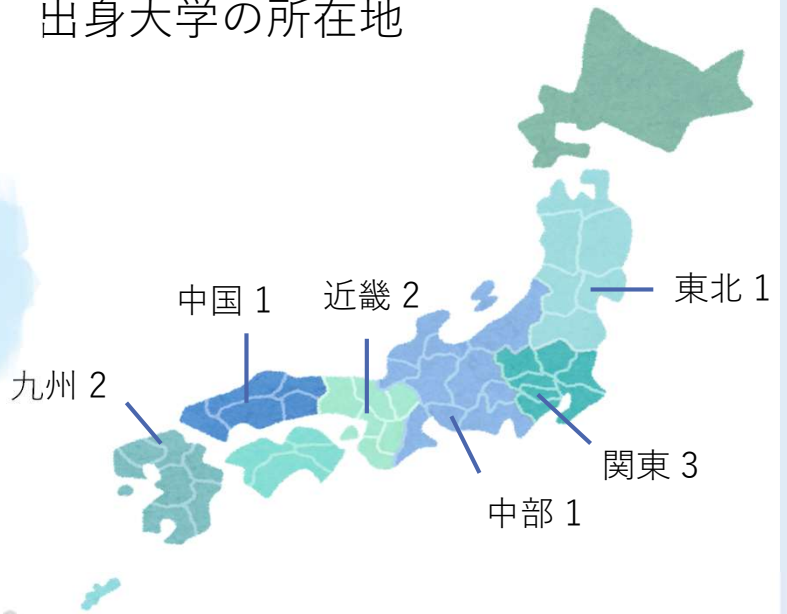


02

内定者データ

出身大学の所在地

内定者10名の学部や公務員試験区分など、基本情報をまとめました。
これから官庁訪問を控えている皆さんの気になることを、少しでも解消できれば幸いです。



性別

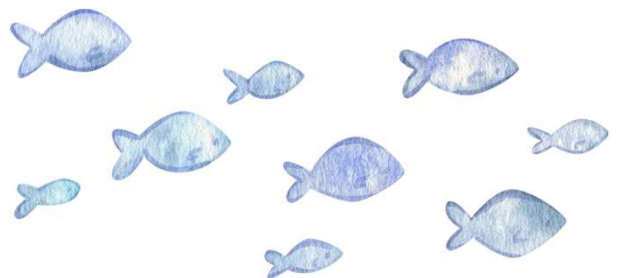
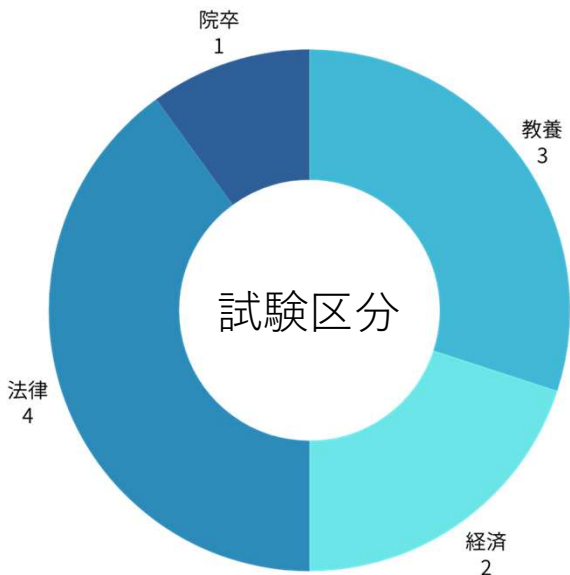
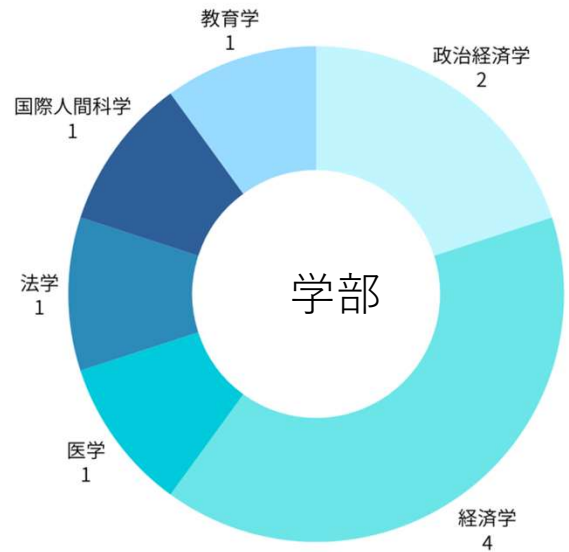


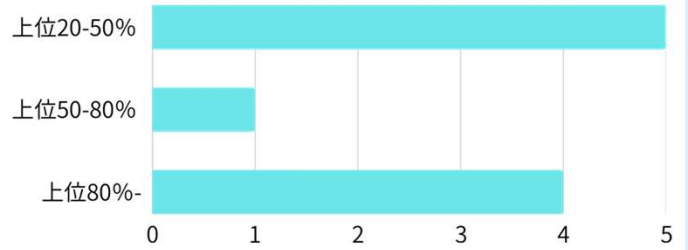
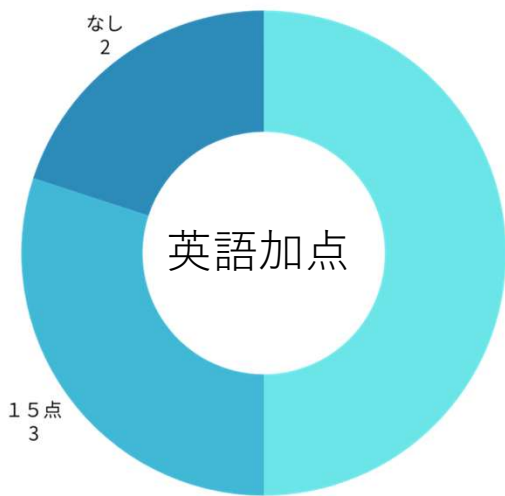
男 5



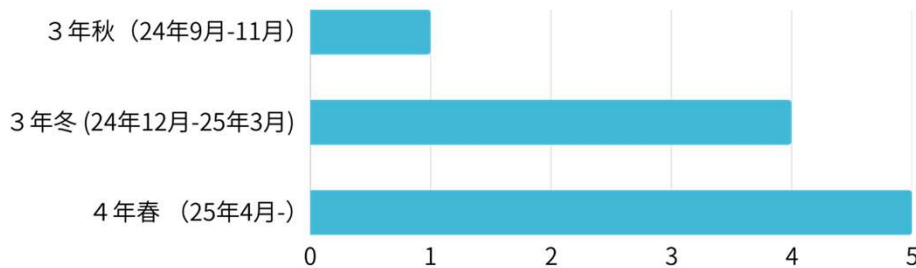
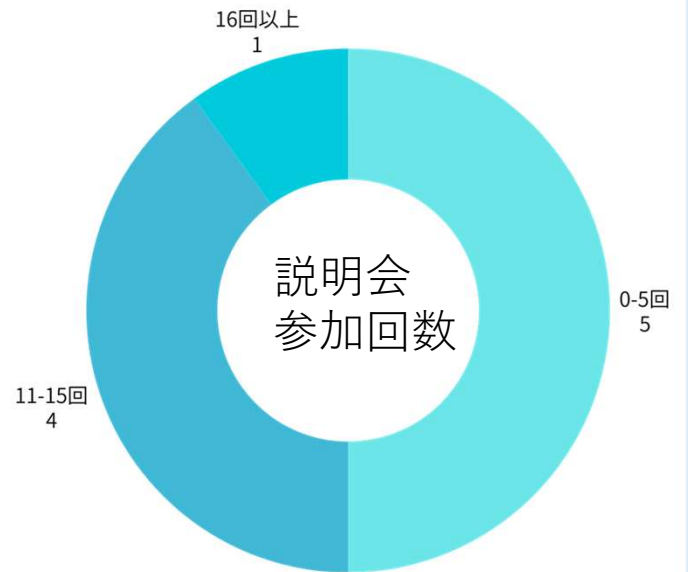
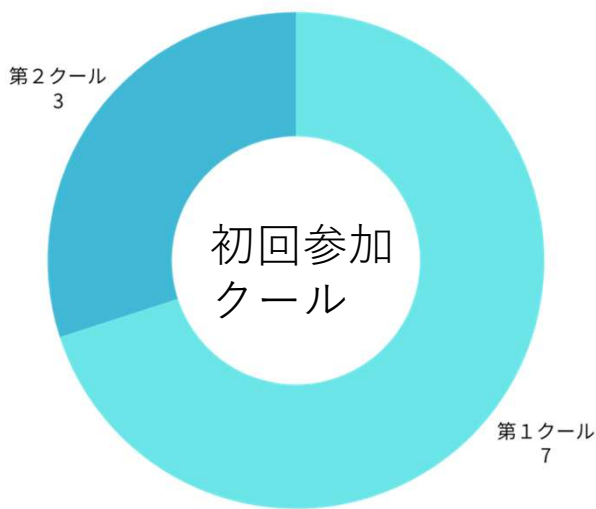
女 5

公務員試験について





官庁訪問について





03

内定者プロフィール

志望動機

私は10年後、20年後も安心して暮らせる社会を目指したいと考えます。人口減少や高齢化がますます進む今の日本で、将来安心安全な暮らしを維持していくことができなくなるかもしれないと危機感を抱いているからです。日本の地域経済を支える中小企業を支援し、働く基盤を守ることが、地域さらには日本全体の成長につながると考えています。金融機関の経営改善等を含め、金融庁、財務省、財務局などで幅広いアプローチができる財務省財務局で、地方にも関わりつつ、ルールメイキングやさまざまな分野で貢献したいと考え志望しました。

ガクチカ

私は塾でのアルバイトに力を入れました。様々な生徒を見ているうちに、文法よりも英単語がわからなくて英語を苦手としている生徒が多いと気づくようになりました。そこで、苦手意識を払拭させ生徒の自信につながるように、その方のレベルに合わせた、より簡単なレベルの単語テストを実施しようと考えました。私の予想した通り、問題に丸がつくことが嬉しい様子で、その後の授業も積極的に取り組む生徒が増えました。また、教えていた生徒の英語全体の点数も上がり、生徒の学びやすい環境づくりに貢献できたことに喜びを感じました。

受験生へのメッセージ

試験や官庁訪問など、乗り越えなければならない壁が皆さんにはたくさんあると思います。ただ、人生はどこにチャンスがあるかわかりません。諦めない心で最後まで試験・官庁訪問を走り切ることが一番大切なことです。体調を第一に、適度に休みながら最後まで頑張りましょう。

人事からの一言

パンフレットをよく読み込んでおり、財務局総合職の使命や業務の意味を自分の言葉で理解しようとする姿勢が印象的でした。面接を通して得た新しい知識に対しても、自分なりの考え方をもって整理が出来ており、真摯に学び続ける姿勢が見受けられました。知的でしっかりとした話しぶりからは、誠実さと視野の広さを兼ね備えた頼もしさを感じました。

出身地
新潟県

大学名
東北大学 法学部

趣味・特技
読書

併願先
裁判所事務官

試験区分
法律

官庁訪問での訪問先
第1クール

1日目：農林水産省

2日目：なし

3日目：なし

志望動機

私は小学校1年生の時に地元で東日本大震災による被災を経験しました。昼夜問わず地域の人々のために従事する方々を間近に見て、国民のために行動することに憧れたため公務員を志しました。進学をきっかけに視野が広がり、「地方の需要と大都市の需要に常にアンテナを張り、地方と都市部の橋渡しになる」という国家公務員像を持ちました。「国と地域をつなぐ」という財務局総合職の不変の使命がこの国家公務員像と重なると考えたため志望しました。

ガクチ力

硬式野球部に所属し、副部長として活動に取り組んでいました。チーム競技である以上、チーム全員の足並みを揃えることが大切であり、私は選手のモチベーション維持とメンタルケアに尽力しました。長距離のランニングやストイックな筋力トレーニングはすぐに成果が出るものではないため下級生の選手が不満を募らせることがありました。そこで練習後の対話を増やすことで気軽に不満を話すことができる環境整備に努め、チームの成長につなげることができました。

受験生へのメッセージ

官庁訪問の最初は周囲の受験生を見て、自分の「至らない箇所」ばかり探していました。そして本来の自分ではない自分を表現しようとして空回りする、そんな開幕でした。そこで、友人と話をしたりしてひと呼吸置き、肩の力を抜いて、本来の自分だけを知ってもらう事に集中しました。私は官庁訪問とは成長を見せる期間だと考えています。皆さんも挫けそうになる事があると思いますが、諦めず成長を続けてください。

人事からの一言

物腰が柔らかく、誰とでも良好な関係を築けるコミュニケーション力が光っていました。受け答えも深い思慮と経済・財政への知識を背景とした説得的なもので、自己分析も丁寧に出来ており、バランス感覚も素晴らしかったです。面接を重ねるたびに、財務局総合職への志望度を高め、自分の思いを熱心に語る姿はとても頼もしく、ぜひ一緒に働きたいと感じました。

出身地
福島県

大学名
九州大学経済学部

趣味・特技
お出かけして地酒を飲む

併願先
国税専門官
裁判所事務官etc...

試験区分
大卒法律

官庁訪問での訪問先
第1クール
1日目：警察庁
2日目：なし
3日目：法務省



志望動機

私が働くうえで大切にしている価値観は「人々の希望ある人生・将来に貢献すること」です。高校時代に西日本豪雨を経験し、自治体と地域金融機関が連携し資金支援を行う姿を見て、金融の力が地域を支えることを実感しました。こうした経験から、制度をあるだけで終わらせず、現場に届き使いやすい形にすることが重要だと考え、財務局の業務に惹かれました。財務局で地方の金融・経済を通じ人々の生活を支える仕事に挑戦したいです。総合職としては、現場の声を丁寧にすくい上げ、制度を実際に役立つ形へと磨き直していくことで、地域の経済と暮らしを支えていきたいと考えています。

ガクチカ

塾講師として、集団塾の弱点である「個別最適な指導が難しい」という課題を改善しました。テストで宿題と同じ問題を間違える生徒が多く、家庭学習に原因があると考えました。そこで、①保護者との対話を2週間に1回に増やし、家庭での学習状況を共有、②各家庭の状況に応じて追加の宿題を課しました。これらの取り組みにより、生徒全員の成績が向上しました。

受験生へのメッセージ

官庁訪問期間中は毎日が緊張の連続で、「自分はここで通用するのだろうか…」と不安もありました。それでも面接を重ねるうちに自分の言葉で話せるようになり、「ここで働きたい」と心から思えました。また説明会に多く参加するほど、自分の関心や将来像も明確になっていったと感じます。長い就職活動になるとと思いますが、悔いのない挑戦をしてください。

人事からの一言

明るく健気で、チャレンジ精神が旺盛なところが好印象でした。面接においては、助言を素直に取り入れながら自分の考えや志望動機を懸命にブラッシュアップしていた姿が心に残っています。ひたむきに努力するその姿勢は、一人間としても尊敬できるものでした。行政官として必要な何事も諦めずに取り組む素質が十分に身につけており、非常に心強かったです。

出身地
岡山県

大学名
東京学芸大学教育学部

趣味・特技
写真・料理

併願先
東京都庁
民間（IT・通信）

試験区分
教養

官庁訪問での訪問先
第1クール
1日目：国税庁
2日目：税関
3日目：財務局



志望動機

自身の家庭環境やボランティアの経験から、多くの人の生活基盤を支えるためには行政サービスの持続が必要であることを実感し、その維持に貢献したいという思いが芽生えました。さらに地元の現状から地域の衰退に取り組む必要性を感じました。財務省財務局総合職であれば、マクロの視点から行政サービスの持続可能性に貢献するとともに、各地の財務局において、地域への貢献も行えると考えています。このように、国全体と地域の双方にアプローチできる点に大きな魅力を感じ、志望いたしました。

ガクチカ

高校時代、ディベートを主な活動とする英語部で部長を務めていました。県大会優勝を目標に掲げた際、部員の間には白けた雰囲気がありました。そこで、チームとして勝てる実力がつき、試合で勝利できるようになれば目標が現実的なものとして意識されるようになると考え、そのために三つの取り組みを行いました。その結果、練習試合で勝利を重ねられるようになり、部員の意識にも変化が現れました。最終的には部全体が同じ目標に向かって主体的に取り組むようになり、県大会での優勝という結果につながりました。

受験生へのメッセージ

私自身、国家総合職を目指し始めた当初は、試験対策や官庁訪問について分からないことばかりで、不安の連続でした。途中で諦めそうになることもありましたが、試行錯誤を重ねた日々があったからこそ、結果につながったのだと感じています。公務員試験は長期にわたる厳しい挑戦ですが、焦らず着実に取り組めば、きっと自分自身が納得できる結果へとつながるはずです。皆さんの挑戦が実を結ぶことを心より願っています。

人事からの一言

幅広い知識と勉強熱心さが際立ち、面接では自分の意見を簡潔かつ説得力をもって伝える力が印象的でした。面接対策だけでなく、長い期間をかけて積み重ねてきた学びが、会話の中で知識の厚み・広さとして感じられました。ハキハキとした話し方に加え、周囲とも積極的にコミュニケーションを取る姿から、リーダーシップを発揮し、活躍する姿が想像できました。

出身地
神奈川県

大学名
明治大学政治経済学部

趣味・特技
編み物・パズル

併願先
神奈川県庁
財務専門官etc...

試験区分
経済

官庁訪問での訪問先
第1クール
1日目：総務省
2日目：財務局
3日目：会計検査院



出身地
福岡県

大学名
佐賀大学経済学部

趣味・特技
物産展巡り・陸上

併願先
財務専門官
国家一般職など

試験区分
大卒法律

官庁訪問での訪問先
第1クール
1日目：財務局
2日目：なし
3日目：なし

志望動機

アルバイトを通じて経済活動の縮小を感じ、そこに歯止めをかけるために国の制度作りに携わりたいと考え国家総合職を志望しました。また財務事務所でのインターンシップに参加した際に財務局の職員の方が国と地方の視点を持ちながら人々の生の声を大切にしていることを知りそこに共感しました。加えて財務局総合職では多様なキャリアパスにより執行者と立案者の双方考えを理解できることも期待しています。

ガクチカ

所属する社会保障法のゼミ活動で「災害時における要配慮者支援」をテーマに1年間グループ研究を行ったことです。文献調査に加え自治体や一般社団法人にヒアリング調査を行いました。事前に質問票や想定問答集を作成したことで予想外の回答にも対応することができました。調査で分かった課題と解決策をゼミのメンバーで議論することにやりがいを感じました。

受験生へのメッセージ

官庁訪問を振り返ると慣れないことや緊張の連続でしたが楽しく充実した日々だったと感じます。様々な政策のお話が聞け質問にも答えていただけの貴重な機会だと思います。自分の考え方や視野を大きく成長させてくれる約2週間へぜひ一歩踏み出してみてください。

人事からの一言

素直で謙虚な人柄にとっても好感が持てました。面接を進めるごとに自信をつけ、堂々と自身の考えや思いを伝えようとする姿に、非常に頼もしさ・芯の強さを感じました。遠方からの官庁訪問にもかかわらず、疲れを感じさせず、最後まで凛として集中力を切らさない姿勢からも、今後どんな大変な場面でも、根気強く誠実に対応してくれる姿が目につきました。



出身地
愛知県

大学名
名古屋大学大学院
医学系研究科

趣味・特技
音楽鑑賞・ギター演奏

併願先
国家一般職
愛知県庁etc...

試験区分
院卒・行政

官庁訪問での訪問先
第1クール
1日目：厚生労働省
2日目：財務局
3日目：なし

志望動機

私は国家公務員として働く上で、政策の立案から実行まで幅広く経験し、マクロとミクロの両方の視点を養いたいと考えています。財務省財務局総合職では、本省での財政・金融政策の企画立案と、地方での政策実行の両方に関わることができ、国家公務員として幅広い経験を積めると考え志望しました。さまざまな経験を通じて成長し、地域と国の双方を支える職員として貢献していきたいです。

ガクチカ

大学の軽音サークルで副部長を務め、部員のオリジナル楽曲を集めたCDの制作を企画しました。もともとコピー演奏が中心のサークルでしたが、新しい取り組みとして企画が立ち上がりました。多くの部員の協力により二枚組のCDを完成させることができました。この企画をきっかけにサークル内でのオリジナルバンドの活動が活発になりました。

受験生へのメッセージ

私は医療系出身のため、周囲に国家公務員志望者はほとんどおらず、採用パンフレットや説明会などに積極的に参加し、心から働きたいと思える職場を見つけました。皆さんも、ぜひ多くの情報に触れ、さまざまな人の話を聞いて、自分の価値観や将来像と向き合ってみてください。不安もあるかと思いますが、皆さんの挑戦を心から応援しています。

人事からの一言

落ち着いた物腰と誠実な話し方、優しい人柄が印象的でした。経済・財政にとらわれない様々な分野に精通しており、財務局総合職に新しい風を吹き込んでくれそうな、多方面で活躍してくれそうな、そんな期待感が強く持てました。第1クールの出口面接で、「新しい発見がたくさんあってすごく楽しかった」と本当に良い笑顔で言ってくれたのが心に残っています。



出身地
京都府

大学名
広島大学経済学部

趣味・特技
野球、サウナ

併願先
国家一般職
財務専門官
京都府庁

試験区分
法律

官庁訪問での訪問先
第1クール
1日目：財務局
2日目：なし
3日目：なし

志望動機

私は特定の地域のこだわるのではなく日本中の地域の存続に貢献したいと考え国家公務員を志望しました。その中で、財務省財務局のキャリアパスでは現場である地方と政策立案の場である本省での勤務の双方を経験できることや、所管している業務の一つである国有財産業務で空地の活用に興味を抱いたため最終的に志望しました。

ガクチカ

大学の軟式野球部での活動で私はピッチャーとして全国大会出場を目標に練習や試合に取り組みました。冬場は試合や大会がなく、目標を見失いがちになりチーム全体で練習に対する姿勢が適当になっていたのですが、自分が率先して集中力を切らさず回りの人を鼓舞しながら練習することを心掛け、自らの態度や姿勢でチームを引っ張ることに努めた結果満足のいく練習をすることが出来ました。

受験生へのメッセージ

官庁訪問中は精神的にも肉体的にも大変な期間ですが、実際に働かれている多くの職員のお話を聞ける機会はこの期間でしか体験できないことなので「楽しんでやろう」という気持ちをもって一生懸命頑張ってください！！

人事からの一言

真面目で誠実な人柄に好感が持て、爽やかな笑顔が印象的でした。業務内容に深い理解を持ち、面接の際には財務局総合職を志望する強い気持ちが言葉の端々から伝わり、地域への熱い思いを感じることができました。「国と地域をつなぐ」というミッションを非常に重視しており、どんな現場でも皆から慕われるリーダーとして活躍するイメージが湧きました。



志望動機

私は政治や経済の分野に関心があり、国の財政運営を通じて社会に貢献をしたいと考え、財務省を志望しました。

中でも、国での政策立案に加え、地方での執行業務など多様なフィールドで経験を積むことができる点に魅力を感じ、財務局総合職を志望しました。

ガクチ力

大学では、政府の介入が労働市場や人口集積に与える影響をテーマに研究をしていました。実証研究の経験を通して培った分析力を強めました。

また、塾講師のアルバイトでは、受講生の理解度に合わせた指導や学習計画の工夫を行い、生徒の成績向上や受験合格に貢献しました。

受験生へのメッセージ

公務員試験や就職活動を控えている皆さんは、不安や緊張を感じる日々を過ごしていると思います。しかし、実際に取り組んでみると意外と乗り越えられるものです。官庁訪問や説明会では、多くのことを学ぶチャンスがあります。気負わず、自分のペースで挑戦してみてください。

人事からの一言

面接では、洗練された知性と落ち着いた雰囲気、真面目さと爽やかさを兼ね備えたバランスの良さが非常に印象的でした。終始謙虚な態度で臨みながらも、財政・経済に関する幅広い知識と論理的な思考力は素晴らしかったです。面接を重ねるごとに財務局総合職の業務理解を深め、志望度を高めていく姿勢に、今後の活躍への期待と心強さを感じました。

出身地
大阪府

大学名
大阪大学経済学部

趣味・特技
サッカー観戦

併願先
大学院

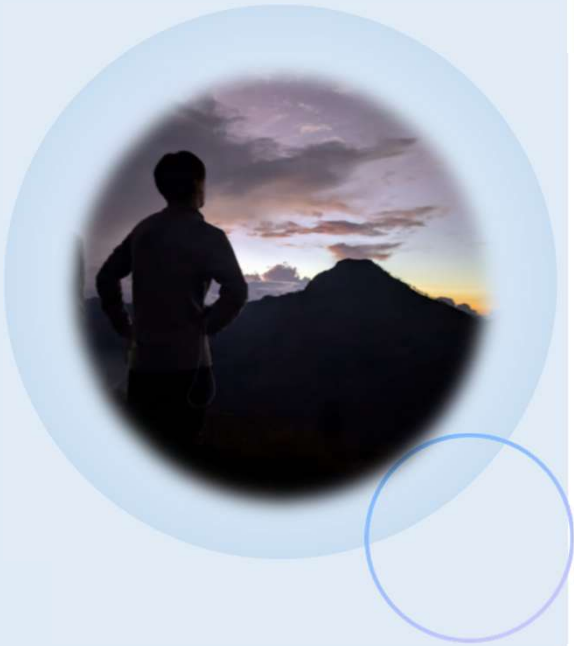
試験区分
経済

官庁訪問での訪問先
第1クール

1日目：財務局

2日目：本省

3日目：なし



志望動機

財政・金融の両面から国を支え、人々の安定した暮らしと地域の魅力向上に貢献したいためです。留学を通じ、日本が各地に独自の魅力を有し、それが地域社会によって支えられていることに気づきました。一方、東京の発展と対照的に、祖父母の住む地方が緩やかに衰退する姿を目の当たりにしてきました。この経験から、地方の現場で経験を積み、中央の政策立案に活かせる財務省財務局で、地域社会と人々を支えるため、地域に寄り添い実効性の高い政策企画に貢献できる行政官になりたいです。

ガクチカ

スタートアップ企業の採用活動において、課題の分析から改善策の提案・実行まで一貫して携わりました。当初、応募者の数と質の低さの背景には知名度の低さに加え、積極的な発信や情報公開の不足が根本原因としてであると仮定しました。提案では根拠の薄さを指摘されましたが、具体的なデータを示すことで説得力を高めました。そのうえで、社内外連携による事例コンテンツの作成、SNSでの情報発信強化等を実施した結果、複数名の社員・インターン生の採用につながりました。

受験生へのメッセージ

就活では「どこが自分に合うのか」、「どこから内定をもらえるのか」、大いに悩むと思います。しかし、国家公務員になりたいと少しでも思い、自ら情報を集めて真剣に考えている皆さんなら、必ず自分に合った場所、心から納得できる場所を見つけられるはずです。集めた情報を基に、自分なりに考え、感じ取ったことは、最後には必ず納得のいく判断へとつながります。好奇心と粘り強さが大事です！皆さんのチャレンジを心から応援しています！

人事からの一言

学ぶ姿勢が非常に真っ直ぐで、新しい分野の知識の吸収力の高さに感心しました。興味の幅が広く、知的好奇心が強くアクティブな点、地域への熱い思いを持っている点も好印象でした。ふと見せる笑顔や親しみやすい雰囲気もとても魅力的です。面接ではプレッシャーを感じながらも、粘り強く最後まで前向きに挑んでおり、短期間での成長にも感銘を受けました。

出身地
東京都

大学名
早稲田大学政治経済学部

趣味・特技
旅行&登山

併願先
民間（金融系）

試験区分
教養区分

官庁訪問での訪問先
第1クール
1日目：経済産業省
2日目：財務省本省
3日目：金融庁



出身地
兵庫県

大学名
神戸大学国際人間科学部

趣味・特技
ゲーム・野球観戦

併願先
なし

試験区分
教養

官庁訪問での訪問先
第1クール
1日目：国土交通省
2日目：財務局
3日目：警察庁

志望動機

私は誰もが自分の住む地域と日本に誇りを持てる社会を実現したいという思いから、財務局総合職を志望しました。私の地元は過疎化が進む地域であり、特に住民の地域を大切に思う気持ちを確かな行動に結びつける財政の仕組みが不可欠だと痛感しています。私は、地域でのヒアリングを通じて現場の生の声を財政政策の立案・執行に反映させるといふ、国と地域をつなぐ要の役割を担う存在である財務局総合職でこそ、私の志したことが実現できると考えました。

ガクチカ

私は学生主体の海外インターンシップ運営団体でリーダーを務めました。研修生の送り出しにおいて受入団体との認識のズレでトラブルがありましたが、話し合いでは原因である安全基準や例外対応事例についてまとめた資料を提示したり、事情を丁寧にヒアリングし、懸念に共感する姿勢を大切にしました。結果、研修生を無事故で派遣できました。この経験を通じ、私はデータに基づく論理的説明と、相手の声を直接聞く対話的アプローチを組み合わせることの重要性を深く学び、粘り強い利害調整力を培うことができました。

受験生へのメッセージ

私は周りにあまり同じ総合職受験者がいなかったため、情報収集や対策など不安ばかりでした。そんな時に力になったのが、通っている塾の先生やこうした内定者ブック、そして志望する官庁の説明会でした。不安は尽きないとは思いますが、相談できる人や希望を見つけて、何より自分のペースを見つけることが大切だと思います。このブックを通して、読んでくださっている方々の不安を少しでも和らげられたら嬉しいです。

人事からの一言

知的好奇心が旺盛で、いつも笑顔でハキハキと話す姿が魅力的でした。相手の話を理解した上で、自分の思いをしっかりと言葉にして届けようとする姿勢が素晴らしく、コミュニケーション能力の高さを感じました。現場経験の重要性を熱心に伝えてくれたのも心強かったです。会話から人柄の良さが伝わり、職場でも誰からも愛される存在になりそうだと感じました。

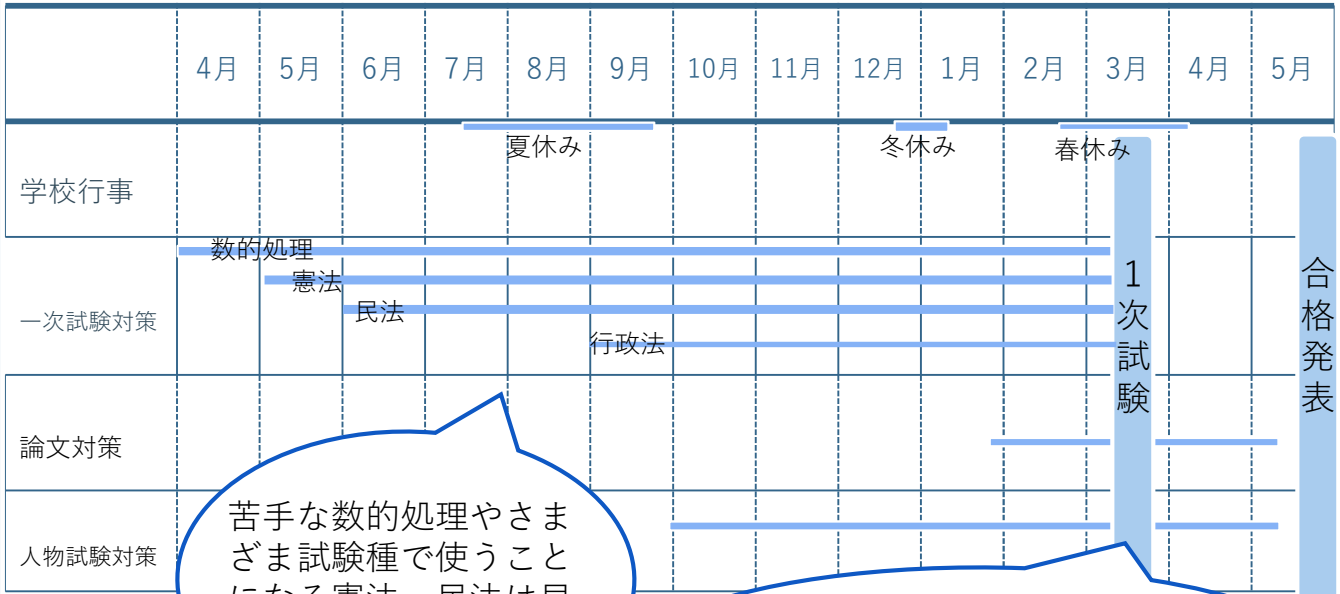


04

試験対策

時間管理

全体の勉強スケジュール (法律区分)



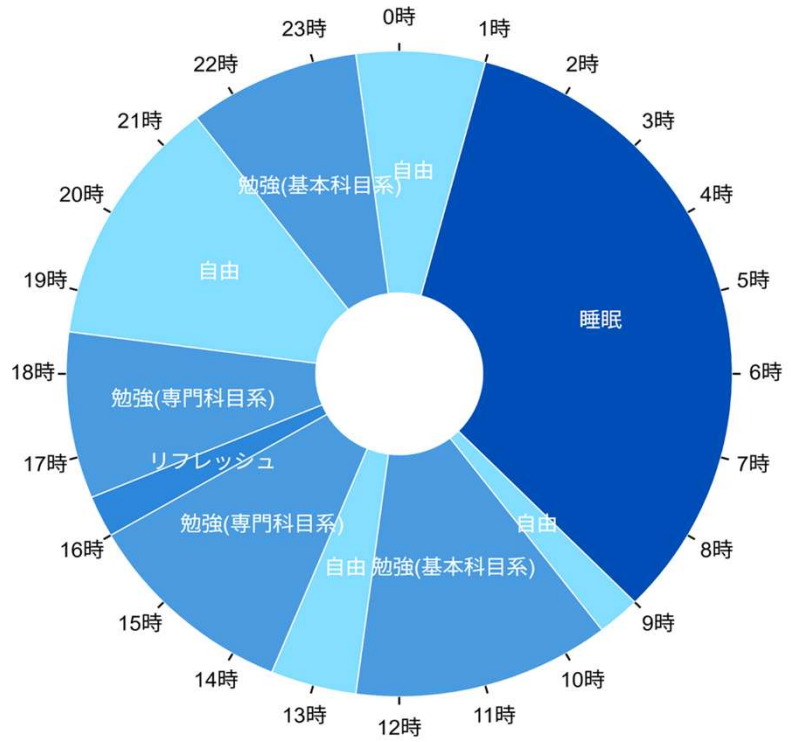
合格発表

苦手な数的処理やさまざま試験種で使うことになる憲法・民法は早めに勉強を始めました

試験が始まってからは時間がないので面接対策は早めにするのがおすすめです！

1日のスケジュール

- ・勉強する科目が偏らないように、1週間で全ての科目を回せるように工夫
- ・朝に数的処理などの頭を使う科目を勉強し、お昼や夕方は暗記系の科目を勉強
- ・集中力を持続させるためにこまめに休憩を挟むことを意識
- ・一番大切なのはしっかり睡眠をとること。夜は早めに就寝。



基礎能力試験

《文章理解》

現代文4問+英文6問の計10問出題されます。本番は長文に焦らないよう、参考書や過去問を使って毎日1問ずつ解く習慣をつけておくことがおすすめです。

《数的処理》

計14問が出題されます。数的推理・判断推理・資料解釈など、分野ごとに傾向が大きく異なるため、それぞれを並行して学習すると効果的です。範囲が広いため、早い段階で各分野の解き方を固めておくことが重要となります。

《一般知識》

計6問出題されます。一般知識は、高校までの教科書を復習するだけでも十分に対応可能です。この分野は多少落としても大勢に影響はないため、他科目の勉強の合間にリフレッシュ感覚で取り組むくらいのペースで進めると良いです。

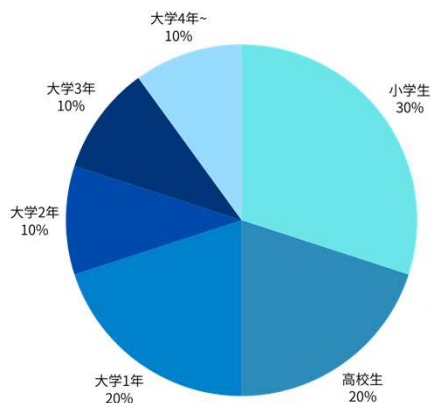
《時事対策》

市販の時事対策本や、電子版の新聞を使って対策するのがおすすめです。また、模試で出題された時事問題を丁寧に復習することや、ネットやテレビのニュースをこまめにチェックすることも効果的です。国家総合職試験の場合、時事を踏まえて社会科学などの内容を聞かれることがあるので、時事と関連が深い自然科学・社会科学などの内容をセットで覚えると良いです。ただ、運次第な部分もあるので、最後は割り切ることも大切です。

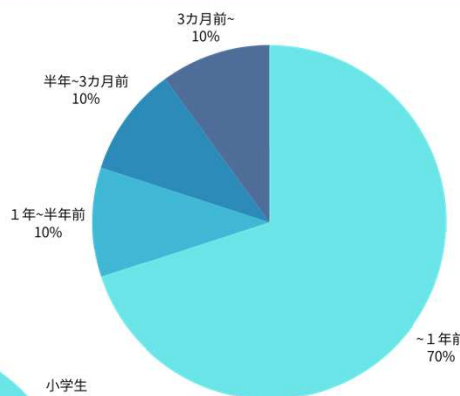
コラム

公務員を目指した時期はいつ？ 勉強はしてた？

大学入学以前から公務員を目指していた人が半分もいます！



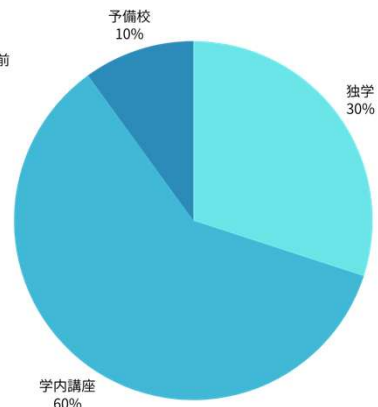
▲公務員にいつからなりたいたと思っていましたか？



▲公務員試験の勉強をいつから始めましたか。

1年以上入念に準備してきた人が多いです！

大学の講座でコツコツと勉強してきた人が多いです！



▲公務員試験の勉強は独学ですか？

専門試験

法律区分

憲法

学習の進め方

憲法には大きく分けて人権と統治があります。講座や予備校、参考書を通じてその概要を学習していきましょう。「すべておわたたら過去問集」ではなく、並行して過去問を解いていくようにしましょう。演習の際には、間違っている肢でも読み切り、解説も読み、主旨を理解していくことを意識しましょう。過去問を解くうちに同じ言い回し、よく使われる言い回しが分かってきます。その引き出しをなるべく多く作っていきましょう。

重点ポイント

- ・前文・条文は必ずしも暗記する必要はありません。言いたいことはなにか把握することを意識しましょう。選択肢を“消去法”で判断するとミスが減ります。
- ・ある程度パターンが掴めてきたら国総の問題に取り掛かりましょう。総の問題はとにかく問題文が長いですが、読んでみると「引き出し」が使えることが多いのでまずは読んでみましょう。

行政法

学習の進め方

行政法は大別して、行政組織法、行政作用法、行政救済法の3つの分野に分けることができます。行政法の大半が行政作用法に分類されるため、まずは行政作用法の内容を丁寧に理解していきましょう。並行して過去問集も解きましょう。行政救済法は行政不服審査法、行政事件訴訟法、国家賠償法を理解していきましょう。それぞれの法がどんな場合、どんな主体に対して、どれほどの拘束力を持つのか過去問集を活用しながら進めていきましょう。国総では、例年行政組織法の難問が1~2問出題されています。ある程度の内容を踏襲し、頭の中で整理できてきたら国総の問題に着手しましょう。

重点ポイント

- ・行政活動は多岐にわたっているため、必要な規範すべてを議会在あらかじめ制定することは現実的ではありません。そのため、行政自らが遂行に必要な規範を定立することになります。だからこそ、「根拠」を知ることが重要となるのです。
- ・行政救済法の分野では、判例が増えます。それぞれの判旨で判決の要となった事項を理解しておきましょう。
- ・行政法は「具体的」や「一般的」の言い回しの違いで、根拠の強さが大きく異なります。そこにまず慣れていくことが重要です。

労働法

学習の進め方

労働法では、問題の多くを占めるのは労働基準法です。そして、専門科目では他の法律科目と比較して問題数は少ないです。参考書などで1から丁寧に学習していくことも1つの手ですが、少ない問題数に対してはかける労力は最小限でいくべきです。労働法では、出題のパターンが決まっておりそのパターンも多くないです。なので、初めから過去問に手を付け、解説を読みながら理解していても差し支えないと思います。解いていくと、同じパターンの問題が何度も出題されていることが分かると思います。それを踏襲することが重要です。

重要ポイント

- ・三六協定、働き方改革、育休介休、高齢者労働、若年者労働、フレックスタイムなど出題パターンは決まっています。とにかく、問題を解きましょう。

専門試験

法律区分

民法

学習の進め方

民法典は、総則・物権・債権・親族・相続の5編から構成されています。他の法律科目と比較しても、とにかく量が多いです。公務員試験では、多くの科目と並行して専門科目を進める必要があります。そのため、全内容を一步一步進めていくのではなく、「よく出る」「汎用性の高い」といった内容から進めていくことも一つの手段です。しかし、他の科目に余裕がある方や試験勉強に多くの時間を割ける方は、一つずつ進めていくことで全容を知ることにつながり、結果的に問題をすらすら解く力につながると思います。条文・判例・論点をリンクさせて理解することで、論述試験への対応もできます。間違えた問題をまとめた“誤答ノート”を作成し、内容を整理しながら学習を進めると効果的です。ノートづくりは3周目以降に行うとより効率的です。

重点ポイント

- ・債権・物権など細かい単元が多いので付箋で整理して進めましょう。
- ・公務員試験で学習する判例には、その判例を通して理解させたい主旨が必ずあります。その主旨を一つ一つ理解していきましょう。
- ・択一・記述両方を意識した勉強をしましょう。(主旨を書きながら正当を読む等)

体験談メモ

- ・1周目は1問10分、2週目は1問5分、3周目は1問1分みたいな感じで解くスピードを上げて1問にかかる時間をだんだん短くすることを意識すると効率が上がって良いです。
- ・国総の法律系の問題は文章が長く、判断する必要のある要素が多いので正解の選択肢を探すのではなく、消去法を使う意識で解くと凡ミスが少なくなります。
- ・「テキストで判例を知る→過去問で聞かれ方のパターンを知る」の周回作業！最初のほうは法律の読み方が難しいかもしれませんが、必ず慣れてくるので法学部の人でなくても心配ないと思います。
- ・2次試験の記述は解答例を参考に、自分なりの解答の型を何種類か作っておくと便利です。(例えば行政法の不利益処分が問題になっている時はこう書くなど)

法律記述

法律記述には、説明問題と事例問題があります。国総の2次試験では文章の長い事例問題が出題されることがほとんどです。行政法、民法はとくに文章が長く、その事例がどの分野のどの主旨を説明させたいのか把握することが重要です。そのためにも、事例を読みながら簡略図を描いていくなど自分なりの型を見つけましょう。私は、法律に精通した学部ではなかったため、択一の対策に集中していました。その代わり、択一の勉強でも主旨をひたすら書きながら学習をしていたため、択一の対策と同時に記述の対策にもなっていたな、と今となって実感しています。しかし、事例を読んで、使う分野がすぐ出てくるようになるには、やはり事例問題をより多く解くことが必要です。余裕のある方は、択一の演習と並行して事例問題を解くようにすると良いと思います。事例問題には必ず「使わせたい分野」「書かせたいフレーズ」「結論に至る判断基準」があります。特に判断基準は、結論を書く上で必ず必要です。たとえば、行政法だと処分性を認めるか否か判断する場合に多くの判例が出ていたと思います。自分の中で出した結論を、判例や法典で根拠づけていってください。

専門試験

経済区分

【専門択一】

必須科目31問+選択科目9問(15問中)の計40問を解きます。
選択科目は、経済史・経済事情、国際経済学、経営学、憲法、民法の5科目です。
上記は2025年度試験の要項となります。年度毎に科目数や問題数が変更になる可能性があるため、ご自身の受験年度の要項をしっかりと確認しておきましょう。

< 経済理論 >

最も問題数が多く、メインとなる科目です。ミクロ経済学+マクロ経済学のうち、国際経済の分野を抜いた範囲から16問出題されます。元々大学の講義などで経済学に馴染みがある方は、知っている公式の応用が出来るようになれば、ある程度出題パターンをカバーできます。経済学に馴染みがない状態からスタートされる方は、まずは自分に合った参考書や問題集を見つけ、何周も解くことから始めると良いです。その際は、言葉だけでなく図を使って理論を理解することを意識してみてください。解説を読んでも分からない問題はそのままにせず、できれば公務員講座の先生などに質問して、しっかりと理論から理解を深めることが重要です。

< 財政学・経済政策 >

計5問出題されます。計算系の範囲は経済理論と被る部分も多く、暗記系の範囲も他の科目と比べてそこまで広くないため、勉強する分量は少なく済みます。前者は経済理論同様に、後者は個人に合ったやり方で暗記しつつ過去問を解くのがオススメです。

< 経済事情 >

計5問出題されます。基礎能力試験の時事問題と範囲が被るため、そちらでしっかり対策していれば問題ありません。知らない知識が出ると全く解けない科目なので、あまりここの勉強に時間をとられすぎないように注意してください。

< 統計学・計量経済学 >

計5問出題されます。一度理解するまでが難しく、とっつきにくい部分はありますが、出題される問題で用いる公式は限られています。問題パターンが経済理論よりもかなり典型化されているので、比較的点数が稼ぎやすいと思います。

< 選択科目 >

オススメは経営学と憲法です。経営学は範囲こそ広いものの、暗記が中心となるため、時間をかけしっかり取り組めば得点源となります。憲法はほぼ全ての公務員試験で使えるため、併願を考えている方には効率の良い科目です。法律系が得意な方なら民法、暗記が苦手な経済系で解きたい方なら国際経済学、歴史が好きなら経済史など、ご自身に合った科目を選んでみてください。

専門試験

経済区分

【専門記述】

経済理論1題(ミクロ経済学1問+マクロ経済学1問)+選択科目1題(3科目中)の計2題を解きます。選択科目は財政学、経済政策、公共政策A・B(公共政策はA・Bのうち1題を選択)の3科目です。こちらも2025年度試験の要項となるため、ご自身の受験年度の要項をしっかりと確認しておきましょう。

<経済理論>

ミクロ経済学・マクロ経済学それぞれで大問が1つずつ出題されます。択一对策で理論をしっかり理解していれば、内容自体は十分に対応可能です。あとは、時間内に要点をまとめて記述する練習を重ねることが重要です。まずは一度過去問を解いて時間配分を確認し、何度か書く練習を行うと良いです。可能であれば、公務員講座の先生などに採点してもらうことで、効率的に上達できます。

<選択科目>

財政学と経済政策は経済理論と似た形式のため、同じ対策方法で問題ありません。ただし、近年は小問数が増加傾向にあるため、時間配分には注意が必要です。一方、公共政策は他の科目とは異なり、計算問題は出題されず、政策論文に近い形式です。したがって、政策論文の対策をしっかり行っていれば、一定の得点が見込めます。財政学・経済政策は得点が伸びやすい一方で安定しにくく、公共政策は安定して点が取れる反面、得点を大きく伸ばすのは難しい傾向があります。まずは一度過去問を解いてみて、自分に合った科目を見極めることが大切です。

コラム

～試験勉強中のリフレッシュ法～

皆さんそれぞれに合ったリフレッシュ法があるかと思いますが、ここでは例として3つご紹介しようと思います。まず1つ目はお菓子です。勉強中、集中力が切れた時や疲れた時に摘まめるお菓子をいつも手元に用意していました。ちなみにおすすめはチョコです。王道ですが、手っ取り早く甘いものを食べたという満足感を得ることが出来ます。また、勉強に本腰を入れるのは寒い季節だと思うので、チョコが溶ける心配もありません。二つ目は運動です。ずっと机に向かっていると身体も凝って鬱屈としてくるので、定期的に身体を動かす習慣をつけるのがおすすめです。外を散歩してみたり、少し柔軟や筋トレを試してみるだけでもかなり気持ちが変わります。公務員志望仲間の中にはキャッチボールをしている人も居ました。3つ目は新聞を読むことです。新聞を読むことが息抜きになるかは人によるところですが、息抜きと時事対策を兼ねられて一石二鳥になります。おすすめは各社の社説を比較してみる事です。同じ話題でも新聞社によって立場が真逆なことも多く、読み始めると意外と面白いです。

専門試験

院卒者試験（行政）

専門択一試験について

院卒者試験（行政区分）では、大卒区分の「法律・経済・人文・政治・国際」の四つの系統のうち一つを選択して解答します。私は、国家一般職など併願先で法律系の科目を勉強していたこともあり、法律系統を選択しました。

法律系統では併願先で使用しなかった商法・刑法は選ばず、労働法と経済学・財政学を選択しました。経済学・財政学については国家一般職向けに勉強していれば比較的解きやすく感じると思うので、おすすめです。

院卒行政区分は他の区分よりも合格点もやや低めなので、通過自体はしやすいと思いますが、最終合格を目指す上ではここでしっかり点を取っておくことが後々有利になります。出題内容は大卒の法律区分と同じなので、勉強法の詳細についてはここでは割愛します。（2025年度受験時点の情報です。受験年度によって変更の可能性がありますので、必ず最新の受験案内をご確認ください。）

専門記述試験について

大卒区分と問題内容は同じですが、院卒行政では全14科目の中から2科目を選択して解答します。院卒行政の専門記述試験では、法律系を1科目、経済系を1科目といったように、自分の得意分野を組み合わせることも可能です。そのため、自分のバックグラウンドや得意分野に合った科目を選ぶことをおすすめします。私は、経済理論と経済政策を選択しました。以下では、経済系全般について説明したいと思います。（2025年度受験時点の情報です。受験年度によって変更の可能性がありますので、必ず最新の受験案内をご確認ください。）

<経済理論>

一見難しそうに見える問題も、内容を整理しながら解いていくと実はかなり初歩的なものが多いです。専門択一の勉強で、グラフを使って「これは何か」「どんな原理なのか」をしっかり理解していけば、7~8割の問題は解けると思います。私は過去問を解く中でわからなかった箇所を、経済学の本を読み、本質的な理解を深めることを繰り返していました。経済理論は計算中心の出題が多いですが、後半は複雑になることもあるので、白紙を避けて何かしら書けるようにすることを目標にしていました。経済理論はマクロ・ミクロの2題構成になっており、私は一題をほぼ完答するか、二題とも中盤までは完答できるよう勉強していました。毎年、試験委員が発表され、その方の著書を読むと良いと言われてはいますが、私自身は借りたものの結局読まなかったため、特に必須ではないと感じました。むしろ、基礎固めをしっかり行うことが最も重要だと思います。

<経済政策>

経済政策についても、基本的な勉強法は経済理論と同じで問題ありません。やや記述量が多い印象なので、字やグラフは見やすく丁寧に書くことを意識しましょう。

<財政学>

念のため、当日の状況に備えて財政学も準備していました。こちらは小問が多く分量も多いですが、択一の知識だけでもある程度対応可能です。

<公共政策A・B>

公共政策は最終手段として選択肢に残していました。対策をあまりしていなくても、経済的な視点から自分の意見を論理的に書ければ、合格点程度は狙えると思います。

論文試験

試験概要

政策論文（大卒区分）

試験内容：複数の資料（英文資料やグラフ資料を含む）を基に、文系・理系の枠に囚われない複合的なテーマ1題を解答

出題形式：1問

制限時間：120分

文字数：答案用紙1枚両面（約1600字）

総合論文（教養区分）

試験内容：幅広い教養や専門知識を土台に総合的な判断力・思考力を判定

出題形式：

I部：政策の企画立案の基礎となる教養・哲学的思考

II部：具体的な政策課題

制限時間：240分

文字数：答案用紙2枚両面

答案作成のポイント

問題文のほかに、3つ程度の資料が添付されている場合が多いため、まずはそれらを丁寧に読み込むことが重要です。また、すぐに文章を書き始めるのではなく、少なくとも30分程度は論文の構成を練る時間を取りましょう。周囲で書き始める音が聞こえると不安になるかもしれませんが、最初にしっかりと構成を整えておくことが、完成度の高い答案につながります。

構成力

序論・本論・結論の3部構成を意識して論理的に展開

事前にテーマごとの構成パターンを作ると書きやすい

資料の活用

与えられた資料を正確に取り、根拠として文章に反映

過去問の活用

過去問を繰り返すことで出題傾向に慣れ、解答精度を上げる

体験談・勉強法

① 早く書ききる練習

制限時間に合わせて文章を書き、分量感を掴む

序論・本論・結論を意識して書き切る

② よく出るテーマのテンプレート作成

少子高齢化、DX、多文化共生、災害、環境問題などの頻出テーマを暗記

あらかじめ自分なりのテンプレートを作成しておく効果的◎

③ 問題文の趣旨把握

出題者が「何を書かせたいか」を意識

資料をそのまま書くのではなく、自分の考えを論理的に展開

④ 過去問・添削の活用

公務員講座・予備校・信頼できる人に答案を添削してもらう

具体的な指摘（論点の弱さ・不明瞭な表現など）を反映して改善

企画提案試験 (教養区分)

試験概要

目的

政策課題に対する企画立案能力・提案能力・プレゼンテーション能力を評価されます。

形式

個人でA4表裏1枚の企画書作成 (90分) → プレゼンテーション (5分) → 面接官からの質疑応答 (25分程度)

事前に提示された白書をもとにした政策課題に対する企画を立案し、企画書を作成します。試験官2名に対してプレゼンテーションを行い、様々な視点から施策が適切か質問されます。

評価ポイント

独創性: 既存の枠にとらわれない、斬新な企画を提案しましょう。

実現可能性: 現実的な制約を考慮した、実現可能な企画を提案しましょう。

説得力: 企画の必要性、効果などをデータに基づいて説明しましょう。プレゼン内容と回答に一貫性があるものにしましょう。

企画書の書き方例

ポイント

施策

①

②

〇〇の推進/〇〇の強化
のように一言で書きました。

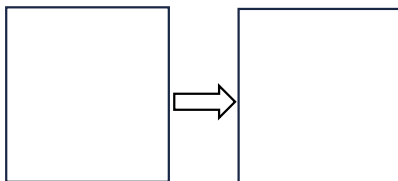
現状

資料内にある数値を用いて客観的事実を書きました。

課題

問題文の要約を書きました。

施策の内容



左側に具体的な施策内容を、
右側に施策による効果を書きました。

留意点と対応策

留意点を3点挙げ、「施策の内容」にない
対応策を書きました。

対策方法

- 事前に発表された試験のテーマと参考資料から課題に関する情報を収集し、現状を分析しましょう。
- プレゼンテーションを短時間で企画の内容を効果的に伝える練習をしましょう。
- 質疑応答では鋭い質問を受けます。予算対効果やどこが主体となって行うか等を考えておきましょう。

政策課題討議試験（教養区分）

試験形式

政策課題討議は、グループディスカッションを通じて、論理的思考力と協調性を評価する試験です。事前準備ではレジュメの構成を予め作成し、議論の中で自分に合った立ち位置を探り、様々な賛否の分かれ方を想定・練習することが重要です。

1

レジュメ作成（約20分）

AかBの選択肢が示され、自らの立場と理由、対案に対する意見や折衷案等をA4紙に記述します。

自分の意見に関係なく書きやすい方を選ぶべきです。

2

第1回意見表明（1人2分）

全員にレジュメが配布された後、各自が自分の立場と理由を表明します。

3

ディスカッション（約40分）

1グループ5～6人で、様々な視点から議論を深めます。

4

第2回意見表明（1人2分）

議論を踏まえた、自らの意見を改めて表明します。

レジュメ作成と効果的なディスカッション

20分でレジュメを完成させるのは意外と難しいため、事前に構成を準備することが重要です。

ディスカッションでは、全体を見て行動し、少数派や発言量の少ない人に話を振るなど、グループ全体の意見を引き出す工夫が必要です。

レジュメの構成例

- ・ 立場：A/B
- ・ 理由
 - ①
 - ②
 - ③
- ・ 考えるべき事項
- ・ メリット・デメリット

	メリット	デメリット
A		
B		

ディスカッション成功のコツ

グループディスカッションでは、「発言の多さ」よりも「チーム全体で考えを深められるか」がポイントになります。自分の意見を伝えるだけでなく、場の流れを意識して動けると印象がぐっと良くなります。

意識しておきたいこと

- 全体を見ながら行動する：今どんな話題が中心なのか、誰がどんな意見を出しているのかをメモを取りながら把握しましょう。
- ポイントを絞って簡潔に話す：結論ファーストで伝えると、聞き手が理解しやすくテンポも良くなります。
- 一人で話し続けない：面接官は協調性も見ていると思います。周りの意見を引き出す姿勢を持つと、より良い議論になります。

人事院面接

人事院面接の概要

- **面接形式**：面接官3名による個人面接（15~20分程度）です。
- **目的**：受験生の適性を見るもので、主に「誠実さ、論理性」を重視します。
- **評価基準**：面接官3名に対して時間が15分程度なので、内容を見られるというよりも「態度、受け答えの仕方、簡潔さ」を見ています。

面接カードの準備

- **作成のポイント①**
面接カードは自分がどのような人物かを示す書類です。なので、字は大きく丁寧に、誤字脱字のないようにしましょう。一読して内容が理解できるように端的な表現を用いましょう。
- **作成のポイント②**
「まず答えから」を意識し、簡潔な一文を置きます。その後、具体例を書きましょう。面接官がイメージしやすい説明を心がけましょう。1項目につき、1エピソード用意できると良いと思います。具体的に何をしたのかという行動を中心に書きましょう。

面接当日の流れと雰囲気

- **面接官**
3名体制です。基本的に志望動機、ガクチカ、趣味特技で役割分担があると思います。多くは穏やかな雰囲気、話を丁寧に聞いてくれる印象です。丁寧な会話をするイメージを持ちましょう。
- **控室の雰囲気**
緊張感があり、張り詰めた空気間です。しかし、うろたえずに自分のペースを崩さず軽食などを持ち込んで肩の力を抜くようにしましょう。
- **入室のタイミング**
前の受験生が退出して1分ほど経過したのち、自分のタイミングで入室します。入退出時の作法は事前に練習しておき、必ずルーティン化しておきましょう。

質問内容と対策のポイント

各項目、1エピソードを準備しておきましょう。
エピソードは長すぎず、簡潔明瞭にまとめておきましょう。

- **よく聞かれる質問**
 - 志望動機（なぜ国家公務員か・なぜその官庁か）
 - 学生時代に力を入れたこと（どんな困難をどう乗り越えたか）
 - 現在取り組んでいる研究(卒業研究のテーマについて)
 - 強み・弱み(自己PRと関連して話せるようにしましょう)
 - 公務員として活かせる経験(ボランティアなど)
 - 最近関心を持った政策や社会課題(時事本などで収集しておきましょう)

人事院面接

対策のコツ

- ・内容を暗記することは必要ないと思います。すらすら言うことができることは重要ではなく、一貫した内容が大事です。
- ・具体的なエピソードを使って、論理的に話しましょう。
- ・難しい質問に詰まっても、焦らず誠実に考えを伝える姿勢が大切です。

体験談まとめ

- ・面接カードを眺めながら、なぜなぜ問答を繰り返して準備しました。
- ・想定質問集を自作して、答えをスラスラ言えるまで練習しました。
- ・講座の模擬面接で客観的なフィードバックをもらったのが良かったです。
- ・受け答えの内容よりも、“誠実に話す姿勢”が評価された気がします。
- ・面接官との雰囲気が穏やかだったので、自然体で臨むのが一番だと思います。

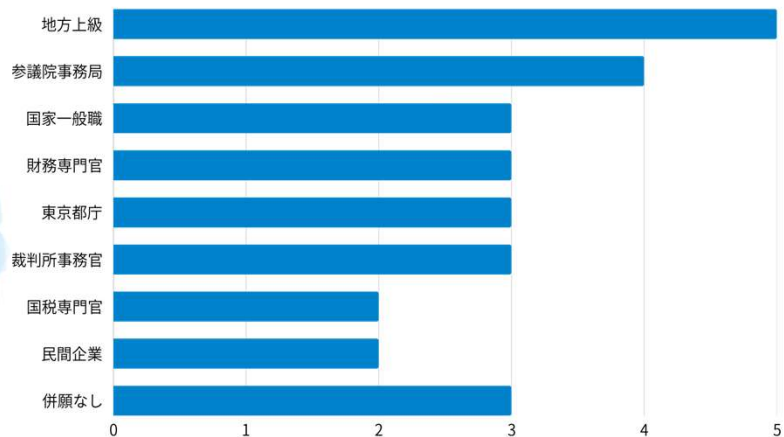
人事院面接まとめ

- ・面接カードの完成度が鍵です。
- ・内容と想定質問の“深掘り”を必ずしておきましょう。
- ・模擬面接は複数回受けて、すらすらいえる必要はないので、作法とハキハキ話す姿勢を身につけておきましょう。
- ・本番では「1項目1エピソード」を意識して「正直さ」と「謙虚さ」をアピールしましょう。
- ・人事院面接は、あなたの国家公務員としての適性を見ています。「どれだけ知識があるか」や「どれだけ優れた経験があるか」は重視していません。なので、「なぜ地方公務員ではなく国家公務員なのか」や「なぜ民間企業ではなく公務員なのか」といった動機を固めておくことが重要です。

コラム

併願の状況を教えて！

公務員試験全般受けた人が多いです。官庁訪問期間中にある地方上級試験も受けている人が多いため、大変だと思いますが、併願は可能なようです！



▲国家公務員総合職以外に受けた試験や企業はありますか？

情報収集

公務員試験の情報って、なかなか手に入りづらい…。
そこで、内定者がどうやって情報を集めていたのかをご紹介します！

インターネット

- ・ 予備校・講座のサイト
- ・ noteやブログ
- ・ X

『インターネットで最新情報や体験談をチェックし、勉強法など効率的に集めました！』

OBOGや先輩職員との交流

- ・ OBOGの方に合わせて話を聞く
- ・ 大学の公務員研究会
- ・ 財務局のメンター制度を活用

『直接の経験談はリアルで具体的に参考になりそうです！』

先生・講座の活用

- ・ 公務員講座
- ・ 大学のキャリアセンター

『分からないままにしないことが大切です！理解できないことは必ず質問して確認しましょう！』

情報は“**集める**”だけじゃなく
“**活かす**”ことが大事！！

試験対策まとめ

試験当日について

雰囲気	持ち物	その他・備考
<ul style="list-style-type: none">•大学入試と同じ感じでした。みんな静かで緊張感がありました。•時事対策本を読んでいる人が多かったです。•午前は緊張していました、午後は少し慣れて緊張が和らいでいました。	<ul style="list-style-type: none">•鉛筆（マークシート用）・鉛筆削り•ちょっとしたお菓子（合間に食べる用）。•温度調節用の上着•ラムネ（集中力維持）•コーヒーは飲み過ぎない、食べやすい栄養食を持参•カイロ（雨・低気温の日のため）	<ul style="list-style-type: none">•筆記試験は普段着が多いので気分が上がる格好で行きました。•面接試験は全員スーツ。靴は履き慣らしておいた方がよいです。•午前が論文で手がとても疲れました。•試験開始までは基本的な内容を軽く復習して臨みました。

試験まとめ

勉強を通して感じたこと
長期間の勉強を通して、コツコツ取り組む大切さや計画性の重要さを実感しました。
試験勉強自体が自分を少しずつ成長させてくれる経験だったと思います。

モチベーション維持の工夫
一人で勉強していると不安になることもありましたが、同じ目標を持つ仲間と進捗を共有したり、定期的に目標を見直すことで気持ちを保ちました。

やってよかったこと・もっとこうすればよかったこと
やってよかったのは、過去問を"解きっぱなしにせず"復習したこと。一方で、「もっと早く時間配分の練習をしておけばよかった」と感じる場面もありました。

来年受ける人へのメッセージ
筆記試験の対策ももちろん大切ですが、官庁訪問を見越して人物試験対策も行いましょう。自分の考えを自分の言葉で説明できるように意識してみてください。
応援しています。



05

官庁訪問

訪問日程のスケジュール例

第1クール

6月11日(水)
~6月13日(金)

A省・B省・C省
を訪問

第2クール

6月16日(月)
~6月18日(水)

A省・B省・D省
を訪問

第3クール

6月19日(木)
~6月20日(金)

A省・D省
を訪問

第4クール

6月23日(月)

A省を訪問
↓
内々定解禁

こちらは2025年の日程です。
詳細は人事院HPをご確認ください。

官庁訪問1日のスケジュール例

官庁訪問は1日を通じて緊張と集中が続きます。朝の受付から夕方の訪問終了まで、複数の面接や説明会が予定されており、時間管理と心身の準備が非常に重要です。以下は実際の訪問スケジュール例です。

9:00 受付・控室待機

到着後、受付で名前を伝え、指定された控室へ案内されます。周囲の雰囲気には圧倒されず、落ち着いて待機することが大切です。深呼吸をして、心を整えましょう。

10:00～12:00 原課面接

実際に働く職員の方が面接官となり、業務内容や政策課題についてのお話を聞くことが中心になります。自分が関心を持つ分野について、具体的な質問や回答を準備しておくことが重要です。

13:00～16:00 原課面接

午後も原課面接が続きます。

17:00～ 出口面接

採用担当職員との面接です。その日の面接の振り返りなどが行われます。落ち着いた態度を保ち、改めてなぜこの省庁で働きたいのかを伝えましょう。

1

2

3

4

5

6

7

9:00～10:00 入口面接

採用担当職員との面接です。志望動機や自己紹介など基本的な内容が聞かれます。第一印象が重要な場面です。明るく、ハキハキと自分の言葉で答えることを意識してください。

12:00～13:00 昼休憩

多くの受験生は控室で昼食をとります。体力を回復し、午後の面接に備えてリフレッシュしましょう。

16:00～17:00 人事面接

人事担当職員による面接です。志望理由の一貫性や理解の深さが問われることが多いです。これまでの面接との整合性を保ちながら、キャリアビジョンを明確に伝えてください。

当日の振り返りをメモしておくことで、翌日以降の面接に活かすことができます。疲れを感じると思いますが、その日の経験と学びは大きな財産になります。

面接構成と時間の目安

官庁訪問の面接は、入口面接から出口面接まで段階的に実施されます。それぞれの面接で重視されるポイントが異なるため、構成や時間配分を理解して臨むことが大切です。面接官の立場や背景によって、面談内容や質問内容が変わってきます。以下の表で各面接の特徴を確認し、それぞれの準備を整えてください。

面接名	時間目安	面接官	主な内容	ポイント
入口面接	10～20分 (1回)	採用担当	アイスブレイク 志望理由	基本的な受け答えを丁寧に行いましょう。 興味のある分野について伝えておきましょう。
原課面接	30～60分 (2～5回)	係長・課長補佐等	業務理解 面接シートの深掘り質問	業務内容についての理解を深める機会にしましょう。 気になる点があれば、積極的に質問してみましょう。
人事面接	20～30分 (1回)	室長	志望理由の深掘り	原課面接等を踏まえ、自分なりの志望理由を伝えるようにしましょう。
出口面接	10～15分 (1回)	採用担当	本日の振り返り 志望度の変化の確認	面接で印象的だった内容を聞かれることが多いので考えておきましょう。

1日で複数の面接が連続するため、体力面の準備も重要です。どの面接でも「自分の言葉」で話すことを心がけてください。面接官の反応をよく観察して、柔軟に対応する力も必要とされます。

控室での過ごし方

控室では、試験内容の詰め込みよりも心の準備と気持ちの切り替えを意識しましょう。他の受験生の様子に焦るよりも、深呼吸や軽いストレッチなどで集中力を保つことが大切です。

面接の振り返り



質問内容や面接内容を簡潔にまとめました。面接で「前の面接官とは何話したの?」と聞かれることもあるので簡単に話せるようにしておくといいです。

周りの就活生とおしゃべり



周りの学生とどんな人と面接したか、併願状況等を話しました。緊張もほぐれますし、みんなで情報共有しながら乗り切りました。

リフレッシュ



省内のコンビニへよく行っていました。お菓子を食べてリフレッシュしていました。

Information

- ・原課面接に呼ばれる時間や回数は人によってさまざまです。順番が前後しても焦らず、落ち着いて待ちましょう。
- ・省内にはコンビニのほかに複数の食堂があります。控室で知り合った受験生と一緒に食堂に行くことも可能です。
- ・控室の雰囲気は比較的和やかです。

想定質問リスト

官庁訪問の面接では、志望動機や学生時代の経験など、基本的な質問から深掘りまで幅広く聞かれます。事前に自分ならどう答えるかを整理しておくことで、落ち着いて受け答えができるようになります。

重要なことは、回答を暗記することではなく、自分の考えや経験を整理して、どのような質問にも応用できるようにすることです。

志望理由系

- 国家公務員を志望する理由は？
- 総合職を志望する理由は？
- 財務局を志望する理由は？
- 国家公務員／総合職／財務局を志望するようになったきっかけは？
- いつから国家公務員／総合職／財務局を目指すようになったのか？
- 民間／他試験／他官庁は受けているか？
- どのような基準（軸）で進路を選んでいるか？

大学・研究・アルバイト等の学生生活

- 大学の勉強
- 専攻は？ゼミではどんなことをしているか？
 - 卒論の内容は？
- ガクチカ
- 学生時代、力を入れて取り組んだことは？
 - 何を感じた？そこから何を得た？
 - その中で苦労したことは？それをどうやって乗り越えたか？
 - それ（ガクチカ）により何か学んだことはあるか？

人柄・価値観

- あなたの長所・短所は？
- 長所が生きた経験／短所ゆえに失敗した具体的な経験はあるか？
- 短所を補うために工夫していることはあるか？
- 財務局に入ったらあなたの長所をどのように生かせるか？

財務局ならではの想定質問

→ 地域活性化に必要なことは？
現場感を意識しながら、財政の観点から地域の課題解決にどう関わるかを示しましょう。

→ 財務省本省・金融庁ではなく財務局か？
財務局の特徴（地域との関わり、幅広い業務、現場感）を理解した上で、自分のキャリアビジョンとの整合性を示してください。

他省庁との比較

他省庁を併願する上での軸について内定者に聞いてみました！

- ・実際に業務を行う上で、ミクロ・マクロどちらの視点も大事にしている点を軸にしていました。
- ・自分の目指すなるべく具体的な国家公務員像が軸になっていました。
- ・政策と現場の両面に携われる点です。霞が関と現場の両方を知る存在として、机上の空論ではない政策形成に貢献したいと思いました。
- ・地方出向の機会が多いかどうか(現場経験を積めるかどうか)
- ・行政サービスの持続に貢献できるかどうか
- ・業務内容への興味
- ・自分のしたいことに対して、その省庁である必要性があること

他省庁へは様々な理由で併願していたようです！

・財務局と基本的には同じような理由で志望しました。財務省のほうがシステム側の比重が大きく、そこが財務局との違いだと感じていました。
 ・国の財政運営に携われる点に魅力を感じました。

財務省

国土交通省

地方創生に興味があり、インフラなど関わることの多い国土交通省を希望していました。

少子高齢化の進む日本で、農業の担い手政策をどのように進めていくかということに関心がありました。

農林水産省

厚生労働省

医療政策(医療データ・診療報酬等)に携わりたいと考えていました。

・交通法規の整備を通じた地域の貢献に興味がありました。
 ・名探偵コナンに登場する警察庁所属のキャラクターに憧れていました。

警察庁

国税庁

納税者にとってより分かりやすく、公平で、信頼される税務行政の構築に携わりたいと考えていました。

政策評価に関心がありました。

総務省(行管)

法務省矯正局

変わろうとする人々に手を差し伸べる矯正行政に関心がありました。

安全・安心な社会の実現と国際的なルールの執行という二つの軸から社会に貢献したいと考えていました。

財務省税関

会計検査院

会計検査院の持つチェック機能に関心がありました。

財務省とは逆に、金融という専門的な分野での業務が多く、専門性の高い業務にも興味を持っていました。

金融庁

法務省民事局

全体的、包括的な法規整備を通じた貢献に興味がありました。

持ち物リスト

忘れ物やトラブルを防ぐために、ここで紹介する持ち物リストを参考に、万全の準備を整えてみましょう。

必須

- ✓ 面接カード
- ✓ メモ帳
- ✓ ペン
- ✓ 身分証明書



推奨

- ✓ パソコン
- ✓ 腕時計
- ✓ ハンカチ
- ✓ 折り畳み傘
- ✓ 飲み物
- ✓ 軽食



内定者の声：

説明会でお話を聞いた方と原課面接をすることが多かったのですが、説明会でメモしたものを持っていると言のネタになって良かったです。

休日の過ごし方

内定者の官庁訪問期間中の休日の過ごし方についてインタビューをしました。

地方上級試験があったので、地元に戻っていました。



東京観光をしていました。



普通の休日と同じようにアルバイトをしていました。



今までの面接の振り返りをしていました。



東京にいる友達とご飯に行きました。



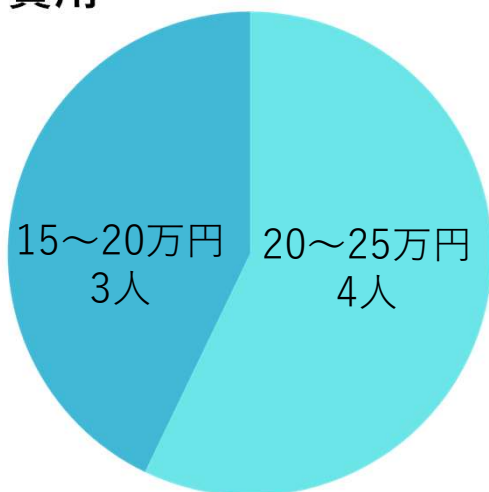
たっぷり寝て疲れをとっていました。



地方の学生向け情報

今年の財務局の内定者はなんと7人が関東以外から訪問しています。
地方の学生が官庁訪問で感じる不安の解消になればと思います。

費用



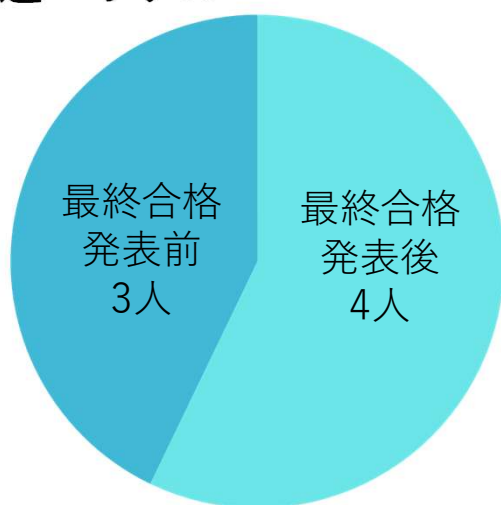
官庁訪問にかかった費用（総額）

今年度の内定者の訪問費用内訳をみると宿泊費10～15万、交通費は3～8万で合計20万円以上はかかっています。官庁訪問期間に他の併願先の受験のために一度地方に戻る内定者も数名おり交通費は多めにかかったようです。

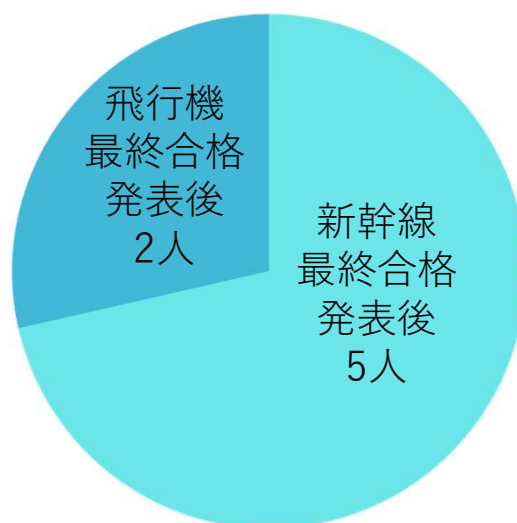
飛行機は予約が早いほど安く済むことが多いですがその分キャンセル不可の場合もあり難しいところです。新幹線は学割や早割などを利用したとのこと。

ホテルについてはキャンセル料が直前まで発生しないところもあるので早めに予約をしておくとう安心です。

交通・ホテル



ホテルの予約時期



交通機関の予約時期

滞在場所

ホテルの最寄り駅・・・ 国会議事堂前、溜池山王、新橋、六本木一丁目など 霞が関駅は地下鉄千代田線、丸の内線などで乗り換えなしで行けます。

財務省までの所要時間・・・ 徒歩圏内や地下鉄20分以内など 慣れない地下鉄や通勤ラッシュなど移動で疲れなように近場を選んだ学生が多かったようです。

振り返り

官庁訪問でやって良かったことは？

Q

- 政治・政策に興味を持って学んでいました。
- 全部興味を持って話を聞いてたくさん質問しました。
- 日ごろから面接練習を重ねていたおかげで、最終日には落ち着いて答えられました。
- 想定質問集を作成していたので、突っ込まれた質問も対応できました。

A

官庁訪問で後悔したことは？

Q

- 面接カードの内容を丸暗記しすぎて、自分の言葉で話す余裕が少なかったです。
- 面接の練習をしなかったことです。
- やりたい仕事について答えられず、準備不足を感じた場面がありました。

A

官庁訪問で苦戦したことは？

Q

- 時間指定で志望動機を話すことです。
- 財務局でやりたいことを具体的に示せず、言葉に詰まりました。

A

面接官からどんな指摘をされた？

Q

- 志望動機が曖昧だと言われました。
- 回答の根拠をもう少し具体的に示すと自分らしさが増すと言われました。
- 言葉が長くなる傾向があるので、簡潔にまとめると印象が良いと言われました。

A

振り返り

クールごとの心境の変化は？

Q

- 顔見知りの就活生が増えて緊張がほぐれました。
- 他省庁併願しており、第二クール～第三クールをどう動くかで人生でいちばんと言っていいくらい悩みました。

A

成長を実感した瞬間は？

Q

- 自己PRで話す順番を意識できるようになりました。目的⇒手段⇒経験⇒貢献のように一貫性を持たせて伝えると良いと思います。
- 自分のPDCRを確立できました。
- 短期間で自分の回答パターンを作り、どの質問にも対応できる力がつきました。

A

官庁訪問で印象に残った職員さんのお話は？

Q

- 主査として国の予算編成に関わった経験談が印象的でした。若手でも大きな責任を担えると感じました。
- 事業者の声を本省に届けたというお話が心に残りました。現場の声を政策につなぐ役割の大きさを実感しました。
- 予算査定で大事にしている視点を伺い、仕事の奥深さを感じました。
- 都会では地方の情報が得にくく、常にアンテナが必要だと伺いました。
- 経済動向調査で、地方と中長期の両面の視点を見る姿勢が印象的でした。
- 地方出向で培ったミクロな視点が、海外出向でも役立ったというお話が心に残りました。
- 企業ヒアリングの場面で「自分なら何を聞くか」と問われ、現場での視点の重要性を感じました。
- 地域経済分析では、データだけでなく企業へのヒアリングなど定性的調査も重視していると伺い、仕事の現場感を実感しました。
- 円借款や金融サービス提供法に携わった経験を伺い、幅広い分野で活躍できることを知りました。

A

振り返り

志望動機を作成するにあたり意識したことは？

Q

- 財務局ならではの強みを調べ、「なぜ財務局なのか」を明確にしました。
- 志望動機の裏付けとなる自分の原体験と財務局の業務を結びつけて書くようにしました。
- 説明会に積極的に参加し、業務理解を深めました。
- 原体験と志望動機を自然に関連づけて話せるよう準備しました。
- 興味ある分野と財務局の役割をつなげて説明できるようにしました。
- 文は短く、ねじれず、簡潔に書くことを意識しました。
- 具体的なエピソードを入れて、自分の良さを伝えるようにしました。
- 相手に伝わる構成や順序を意識して整理しました。
- 国家公務員 → 総合職 → 財務局と、選択の理由を段階的に説明できるようにしました。

A

自分が評価されたと思うポイントは？

Q

- 面接ごとに反省を活かして成長しようとする姿勢を示し、分からないことや不安な点は積極的に質問して理解を深めました。
- 相手から視線を逸らさず、落ち着いて率直に自分の意見を伝えることで、誠実さや冷静さを評価されたと思います。
- 勉強熱心で好奇心旺盛な点や、政策・経済への関心の強さ、職員の経験や話に興味を持つ姿勢を見せました。
- 説明会への積極的な参加や業務理解を深める努力から、財務局への熱意や理解度が伝わったと思います。
- コミュニケーション能力を発揮し、質問に対して自分なりの考えを伝えながら議論できる姿勢が評価されたと考えています。
- 政策理解に基づき、自分なりの意見や疑問を持ち続け、謙虚に学ぶようとする姿勢を意識しました。

A

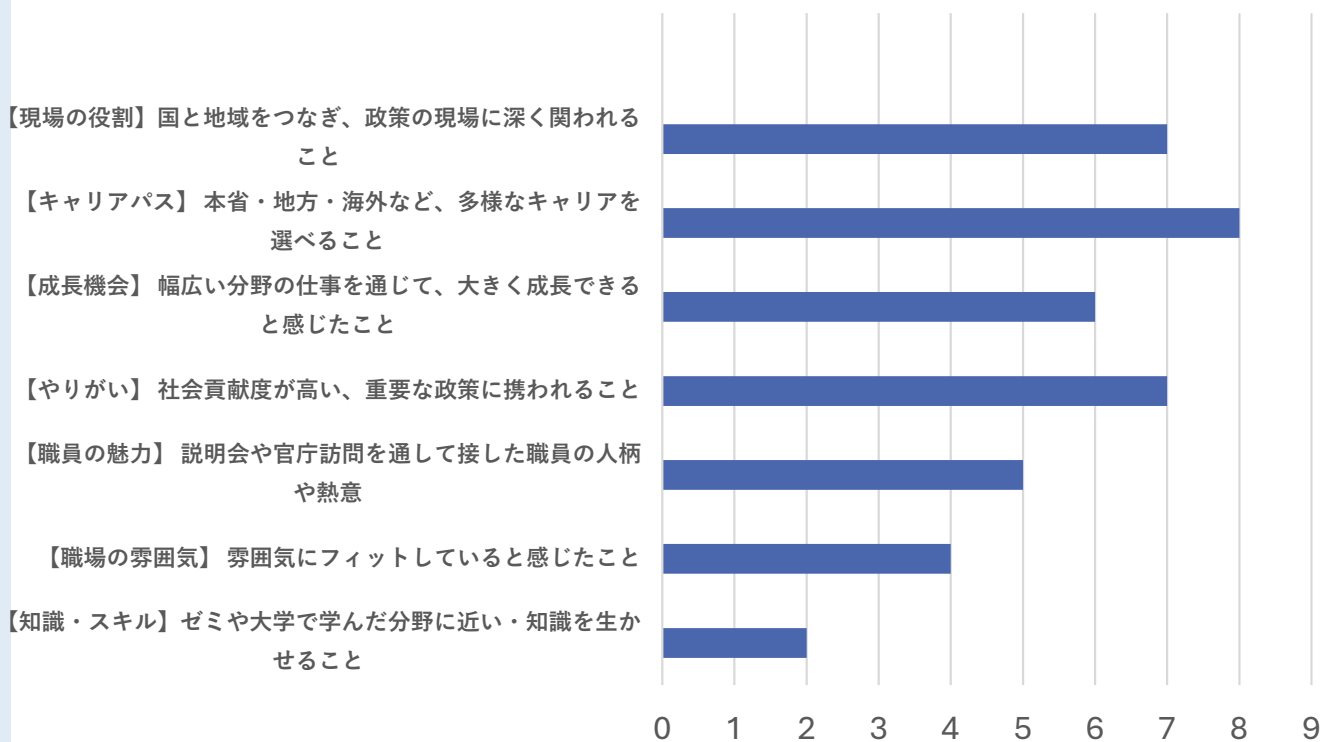
コラム

出口面接ってどんなことを言われるの？

出口面接では、各クールで様々な表現で評価が伝えられることがあります。内定者によって表現の差やタイミングの違いはありますが、どのような言葉でも大きな差はなく、評価自体を過度に心配する必要はありません！！この表現だったから安心！この言葉がもらえなかったから不安…と考える必要はなく、冷静に自己分析を行い、次の訪問に繋げましょう。

財務局にした決め手

内定者の皆さん10人に、決め手となった要素を聞いてみました！
やはり財務局出向の機会など、**財務局ならではの経験・成長機会・実際に職員の方と交流**し、体感したことが大きな要因になっているようです。



地方財政について興味
があった！

現場の声を直接聞き、それを政策に反映していく過程に強い魅力を感じました。**地域の課題を自らの提案で解決に導けるような公務員になりたい**と考えており、財務局の仕事は自分の就職軸に合致していると感じました。

原課でお会いした職員の方が**いきいきとこれまでの業務を話していらして****自分もこうなりたいと思った**からです！



06

おわりに

最後までお読みいただき、ありがとうございました。
本冊子では、私たち内定者が就職活動や官庁訪問の中で感じたこと、悩んだこと、そして財務局を志すに至った思いを、できるだけ率直にまとめました。

国家公務員試験や官庁訪問は、不安も迷いもつきものですが、その過程は「自分は何を大切にしたいのか」を深く考える貴重な機会でもあります。

私たち自身も、自分の価値観や強みに向き合いながら、少しずつ前に進んできました。

この冊子が、皆さんの進路選択における小さなヒントとなり、不安を和らげる一助となれば嬉しく思います。そして、いつか皆さんと財務局でお会いできる日を、心から楽しみにしています。

本パンフレットの作成にあたり、ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

令和8年度 財務省財務局総合職内定者一同

静岡旅行の写真の続きです！



↑ まかいの牧場では羊や馬を見ました！
牧場のアイスって本当に美味しいですよ～

↓ 雲の隙間から一瞬富士山を見ることができました！



↑ 富士宮市の白糸の滝です！
涼しい絶景スポットです！



財務省